

環境整備活動記録

第 42 期 11 月度

2023 年 10 月 16 日

～2023 年 11 月 20 日

岩田副理事長、本間理事、阿式理事、
永野専門委員、澁谷さん、阿部さん

植栽定期保守活動(桐屋造園)

○11 月度、桐屋造園の植栽定期保守活動はありませんでした。

植栽スポット保守活動 (桐屋造園)

○柳瀬川通りから 6 号棟に入る路肩のアベリア大型樽植木鉢 2 鉢は 11 月 7 日(火)に桐屋造園より予定通り納品が完了致しました。



(見積り金額 : 111, 320 円(消費税込))

その他の植栽・花だよりについて

○今年は猛暑が続き街区内の紅葉は遅れ気味でしたが、11 月に入りケヤキやイチョウの葉も色付きはじめ、ニシキギも真っ赤な葉になり秋らしくなってきました。また、10 月定期保守作業で綺麗に剪定したピラカンサは、実の色も緑から赤や黄色になりはじめ来月には沢山の実が綺麗についた木となりますので、皆さん是非見て下さい。

○大規模修繕工事でご自宅のベランダから植栽仮置き場に移動していた植木鉢類は、ベランダの防水工事や外壁塗装工事が終了し、アンケート調査が完了した 6 号棟から順次ご自宅に戻すことが可能になっていますので、お知らせ致します。



清掃美化活動

○ゴミ集積所のルールを守ってきれいに使って頂くために、10月30日(月)各号棟の掲示板に
①ゴミ捨てる号棟別場所を守って ②鉢土捨てる号棟別場所を守って ③カラス対策でゴミは
ベランダに出さないで・・・の、お知らせとお願い文を掲示しました。

○専門委員が常時街区内のゴミ集積所の状況を見て点検巡回を実施しました。

その他の活動

○5号棟 EV ホールのガラス窓清掃作業は、屋上からのゴンドラ作業を伴う為に大規模修繕
工事の足場解体後に見積り作業を実施することで見積りは2月へ延期しました。
尚、見積り業者は、6・7号棟と同じ(株)日本ハウジングを予定しています。

○今期計画したゴミ集積所コンテナの修理品入替について、各集積所のコンテナを調査した
結果、本体5台、フタ53枚が修理品でした。また、本体・フタの修理品を全て新品に入替
えるとした場合、見積り結果から総費用は230万円以上の高額となります。
本体購入の最終年は2015年(H27)であり、約7年間、ビルメンOB池田氏に修理依頼して
きたが入替費削減の効果は大きく、これからも修理してくれる方や業者を探し修理しながら
コンテナは入替る方向で進めたいと考えています。

○中式管理の4号棟東側のシンボルケヤキの根元に発生した「ベッコウタケ」は、10月28日
の桐屋造園との情報交換会・巡回点検で約10×20cmのキノコを確認した。

ベッコウタケは木を腐らせる力が強く、葉が茂っていても木の内部が腐って倒木の危険性があり、今般、的確な樹木診断をおこない防腐剤塗布等の延命措置なども含めて桐屋造園と樹木医のプロの経験を活かして対応したいと考えています。

また、倒木で被害が一番心配される 5 号棟南西側のシンボルシラカシを今回一緒に樹木診断をしたくご承認をお願いします。

桐屋造園：樹木診断見積り 660,000 円(税込)

○4号棟東側のシンボルケヤキ周り道路の路面が3ヵ所地割れし 僅かであるが盛り上っている。盛り上りの原因はケヤキの根上りであり、2015年(H27)にも同じ問題が発生し(株)抜井商事で根回りと路面の改良工事を実施している。(抜井工事費 1,198,800 円) 今回も今までの工事データを保有している業者に工事の発注をして、根上り再発防止の対策工事を実施したいと考えています。

○中武・街区内の景観や自然災害による倒木・枯枝の落下、住環境の日照等の維持の為、桐屋造園と巡回後、情報交換会を開催し、今後の街区内の樹木管理について「作業基準、伐採・剪定基準」及び「高木の作業管理基準、ケヤキのグルーピング、高木の作業実施・予定時期」等のタタキ台の(案)をまとめましたので、役員の皆様のご意見をお聞かせ下さい。桐谷造園とも密に連携して今後の運用をはかりたいと考えています。

○街区内の樹木及び草花の名板は設置から40年以上が経っており、古くなりよく読めない名板や破損した名板がある。また、知らない樹木や草花があり名板を新しく設置して欲しいとの声もあり、今般 街区内の樹木や草花の名板をすべて調査し銘板の整備と更新を計画的に実施したいと考えています。

尚、予算面では志木市認定保存木の年間補助金が、約120千円(=3,000円×41本)あるのでそれを財源に更新計画に活用したいと考えています。

因みに、名板の購入費は2,500円/枚(現 Aboc 社製)で48枚が更新できます。

以上